

2024 年新未来のびわ湖人育成のための出前講座

滋賀大学「環境学習支援士」会

びわ湖の環境を学び、びわ湖を愛し、次の世代へ残していくために自分で考え行動するびわ湖人へと成長していく学習支援をおこないます。県内小学5年生の「うみのこ」体験学習の乗船前出前講座「びわ湖の今と昔を学び、未来を考える」です。未来を考えるでは①グループで、又は②一人一人課題を選択し、びわ湖を守るためどう行動するか発表します。



〒520-0862 大津市平津 2-5-1
(滋賀大学教育学部内 425 号室)

滋賀大学「環境学習支援士」会

FAX (橋田) : 077-563-5680

Email : shienschikai@yahoo.co.jp

1.「うみのこ」の学習支援 2024年2月までの学習支援実績

県内小学校 97校(221回)延べ 15,659名

小学校名	回	小学校名	回
高島市今津北小	1	草津市矢倉小	1
高島市社会地域	1	草津市志津小	1
大津市伊香立小	2	草津市老上小	1
大津市小野小	1	草津市老上西小	1
大津市木戸小	1	草津市渋川小	2
大津市真野小	1	草津市草津小	1
大津市堅田小	3	草津市玉川小	1
大津市仰木里東小	2	野洲市野洲小	2
大津市仰木の里小	1	野洲市三上小	2
大津市坂本小	5	野洲市中主小	1
大津市志賀小	8	野洲市北野小	2
大津市立達坂小	2	守山市小津小	1
大津市石山小	1	守山市物部小	1
大津市藤尾小	4	守山市吉身小	1
大津市晴嵐小	9	守山市守山小	2
大津市田上小	1	栗東市治田東小	1
大津市瀬田小	3	栗東市大宝小	1
大津市膳所小	3	栗東市葉山東小	1
大津市日吉台	1	栗東市大宝東小	1
大津市青山小	2	甲賀市甲南第一小	1
大津市大石小	2	甲賀市油日小	2
大津市南郷小	2	甲賀市佐山小	1
大津市上田上小	2	甲賀市大原小	1
草津市志津南小	2	湖南市三雲小	1
草津市常盤小	2	湖南市石都南小	1
草津市笠縫小	2	湖南市水戸小	2



小学校名	回	小学校名	回
長浜市永原小	1	彦根市立稻枝東	2
長浜市七郷小	1	彦根市稲枝西小	1
長浜市古保利小	1	彦根市佐和山小	1
長浜市小谷小	2	愛荘町秦荘東小	1
長浜市速水小	2	東近江能登川東小	1
長浜市朝日小	2	東近江市能登川南小	1
長浜市びわ南小	2	能登川市北小	1
長浜北小学校	1	東近江市蒲生北小	1
長浜市長浜小	1	東近江市湖東第三小	1
長浜市余呉中小	1	東近江市八日市西小	1
米原市坂田小	1	近江八幡市沖島小	1
米原市柏原小	1	近江八幡小	2
彦根市城北小	2	近江八幡安土小	1
彦根市鳥居本小	3	近江八幡桐原東小	1
彦根市城西小	2	近江八幡岡山小	1
彦根市城東小	3	近江八幡市桐原小	1
彦根市金城小	3	近江八幡老蘇小	1
彦根市平田小	2	近江兄弟社小	1
彦根市旭森小	4	竜王町竜王西小	2
彦根市城南小	5	日野町桜谷小	1
彦根市城陽小	1	日野町日野小	3
彦根市立若葉小	1	日野町必佐小	1
彦根市河瀬小	1	湖南市三雲東	1
彦根市亀山小	1	湖南市菩提寺小	1
彦根市稲枝北小	2	湖南市石部小	1

出前講座期間 2012年10月～2024年2月

2023年度の実績は

2024年度は、コロナ禍が収まり5類に指定された。「うみのこ」は3年間の1日航海から、1泊2日の本来の乗船学習となった。2025年度から、本来の乗船前学習に変更していきます。

◎市別の学校実施は、大津市4校、長浜市3校、草津市2校、甲賀市2校、湖南市2校、近江八幡市1校、高島市社会連携主催、合計14校。○大津市：平野小学校、南郷小学校、日吉台小学校、田上小学校1回、○長浜市：小谷小学校、余呉小中学校、永原小学校、○草津市：志津小学校、老上小学校、○湖南市：菩提寺小北小学校、三雲東小学校 ○甲賀市：伴谷小学校、○近江八幡市：八幡小学校、○高島市：高島市社会地域教育連携室、

1. 出前講座のねらいは

- ①びわ湖の昔と現在について知識を深め、今のびわ湖の良いところ・問題のあるところを明らかに、びわ湖の未来について考えます。
- ②現在のびわ湖の状況を学ぶことは大切です。同時に「びわ湖の未来」を考えるとという前向きな学習は、自分と他の人との意見の違いやその理由を全体で明らかにしていく中で、クラス全体でびわ湖の未来を共有していきます。
- ③「うみのこ」乗船後10年後に、子どもたちひとりひとりが自分で考え、行動できるびわ湖人に成長するよう学習支援をします。

2. 乗船前の学習支援の内容

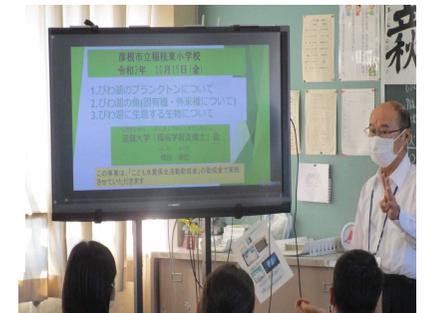
第一部の出前授業 45分		
1 時 限	びわ湖の昔の暮らし	びわ湖の誕生と湖の周辺の暮らしの変遷
	今のびわ湖	びわ湖の水の変化や湖に住む生き物と恵み、内湖・ヨシ・魚と田んぼの役割
	びわ湖の良いところ、問題のあるところ	びわ湖の良いところは、自然・歴史・文化が継承されている。びわ湖に多くの問題あることを知る
第二部ワークショップ 45分		
2 時 限	びわ湖の未来を考える	①班でびわ湖の課題を選び、みんなで意見を出し合い10年後のびわ湖を守るため、どのように行動するのか、すべての班で発表する。 ②未来を考えるでは課題例から一人一人が課題を選択し、選んだ理由を発表し交流します。
	① グループ4~6名 班体制でカードによる ② 一人一人が課題を選択して理由発表する	

○授業は、電子黒板・スクリーンへ

(授業は、1クラス1講師で担任の教諭とご一緒に)



びわ湖の昔・今・これから



○新ワークショップとグループ発表

- ①グループでびわ湖の問題点カード12枚からびわ湖の未来を考えカードの中から3枚選び、そのカードを自分たちで、どうするのか話し合い決めたことを班ごとに、全班が発表する。
- ②未来を考える課題例から一人一人課題を2枚選択し、選んだ理由と10年後のびわ湖を守るためにどうするか発表する。



3. 講座への先生方のアンケート結果は

- ① 講座は写真・図・データ等に基づく説明で分かりやすいが、難しい語句は分かりやすく説明を、クイズは子どもたちを授業へ取り込む手法ですもう少し多く取り入れて欲しいと思います。
- ②ワークショップは、沢山のカードから数枚に絞られていくと、個々に意見を交わし、適切な指導もあって、全班が発表出来るようになっていきます。
- ③フローティングを体験し、出前講座の学習を経てまとめの学習に入り、今から未来のびわ湖を考える視点を子どもたちに提示して頂き、子どもたちの中で具体的な取組が見られるよう働きかけていきたいと思っています。

4. 児童たちの意識・行動の変容

○「うみのこ」の乗船前の学習支援で子供たちの意識・行動に変化が起こります

- ①乗船前の学習支援は、子どもたちがこれから体験学習するびわ湖への取り組みに自信が持てるようになります。
- ②乗船後の学習支援は、びわ湖を実体験し、その後学ぶことにより今のびわ湖の素晴らしさや問題に気づきます。
- ③5年生のびわ湖の学習での子供たちのまとめ・発表では今の課題に向き合い、これからどうすればいいのか一人ひとりがテーマに意識的に取り組んでいます。

5. これからの講座の改善・発展

- ①先生方の評価に基づき、講座の進め方や内容などを、引き続き月1回の検討会で改善を図ります。
- ②本来の自然なびわ湖の姿を思い描き10年後のびわ湖のためにどんなことができるのか、自ら考え行動できる力を育成します。
- ③びわ湖の環境を学び、びわ湖を愛し、次の世代へ残していくためのびわ湖人へと成長していく学習支援を行います。